

令和3年度「人権擁護研修会」開催要綱

1. 研修の主旨

2016年7月26日、津久井やまゆり園の殺傷事件が起こってから丸5年が経過しました。この間に、支援者の皆さんは、また属する事業所は、何かが変わったでしょうか。依然として各地で、障害者施設従事者等による虐待が起こっています。またコロナ禍のなかで、管理を強化するだけの事業所やグループホームの実態があることも顕在化してきました。

高山は、津久井やまゆり園意思決定支援専門アドバイザーとして、この4年間、「110名の利用者の意思決定過程」に関わらせていただきました。そしてこの8月から、ご本人が決めた次の生活の場所への引っ越しが始まります。

今回の人権擁護研修会は、津久井やまゆり園の利用者の方々から教えられ、気づかされた「支援の本質」について、皆さんにお伝えしたいと思います。そして『意思』とは何か、その『支援』とはという、根幹的な命題を、皆さんと語り、深めていきたいと思っています。

私にとって、1年ぶりの大好きな鹿児島での研修は、オンラインでなく、対面を切望しています。そして、気概のある支援者の方々との新しい出会いと再会を楽しみにしています。

2. 主 催 鹿児島県知的障害者福祉協会 倫理・危機管理委員会

3. 共 催 さくらじま知的障害児者生活サポート協会

4. 日 時 令和3年9月10日（金）13:20～16:30

5. 会 場 鹿児島サンロイヤルホテル 2F 中央の間

6. 研修内容及び日程【研修プログラムは都合により変更することがありますのでご了承下さい。】

12:30～13:20 受付

13:20～13:30 開会あいさつ 鹿児島県知的障害者福祉協会会長 水流 純大

13:30～14:45 講演：「支援者の命題である『意思決定』について考える」

14:50～16:30 演習：「意思とはその支援とは」

講師：東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 高山 直樹氏

16:30 閉会

7. 参加対象 各施設・事業所の人権擁護担当者又は研修担当者等のご出席についてご配慮をお願いいたします。

8. 定 員 約100名

9. 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入の上、8月23日（月）までに FAX にてお申込ください。

10. 参加費 当協会・さくらじまサポート協会加入施設：2,000円

（お一人様） 非会員施設・事業所：4,000円

*参加費等は、下記口座へお振り込み下さい。

※「振込人」には「施設名」のみご記入ください。

・記入例……障害者支援施設〇〇〇 → 振込人 〇〇〇

障害者支援センター△△△ → 振込人 △△△

・法人でまとめてお振込みの場合は、参加申込書備考にご記入ください。

鹿児島信用金庫 郡元支店 普通口座 5609751

鹿児島県知的障害者福祉協会 会長 水流純大

※倫理危機管理委員会 山本 秀樹（総合支援センターわかば）・松久保 和俊（知覧育成園）
前田 智史（社会福祉法人 天上会）・前原 昭子（桜町学園）